



高齢者の健康促進について  
創志会 宇田川 希

問 高齢者になると、筋力の低下はもちろのこと、バランス感覚も低下して、転倒による骨折など、若い時には考えられないような理由でけがをすることが多くなります。

筋力向上や手足の運動による脳の活性化も促進可能な適度な運動または、体操が必要であり、それを継続的に行なうことが重要です。市内では、長年の間、早朝より、東柏ヶ谷近隣公園や北部公園をはじめ、各地で多くの市民の方がフジオ体操を行っています。

そこで、本市では市民の健康促進に向けて、現在どのような取り組みをされているのか伺います。

答 (保健福祉部長) : 高齢者が要介護状態などになることの予防、または要介護状態などの軽減、もしくは、悪化の防止を目的とした介護予防教室を実施しています。平成28年度の実施状況は年間490回開催し、延べ8497人の参加がありました。

教室では、理学療法士監修のもとに作成した「海老名ロコモ体操」や、健康運動指導士監修のもと健康えびな普及員会が作成した「海老名のびのび体操」を取り入れ、普及啓発と健康増進に努めています。

その他の質問

・防災対策について

・さくら号運行事業について

・市民への効果的な情報発信と活用について



市税(法人市民税)から見た  
企業誘致活動の現状について  
創志会 市川 洋一

問 市税全体の決算額では十年前に戻っています。これは、西口開発などによるまちづくりで、個人市民税や固定資産税によって支えられています。

一方、法人市民税はまだ、約半分であり、歳出の扶助費は約二倍に上昇しています。今後は、市税增收や扶助費など経常経費の増加に伴う財政弾力化の確保が課題です。そこで、自主財源確保の観点から、①法人市民税を取り巻く環境を踏まえた今後の展望②運動公園周辺工業土地区画整理事業の状況③企業立地促進条例の実施状況④さがみロボット産業特区における市の取り組み状況についてを伺います。

答 (総務担当理事) : ①法人市民税は平成26年度税制改正の税率引き下げの影響で、大幅な増額には至っていませんが、貴重な財源なので、今後も増額につながるように取り組みます。

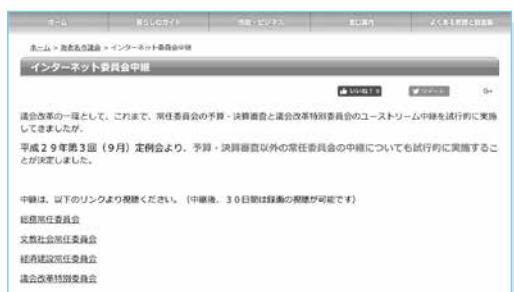
答 (まちづくり部長) : ②昨年11月に組合設立認可を受け、事業を推進しており、近々に仮換地指定を行う予定です。工事をできるだけ効率的に推進することで、事業効果の早期創出が期待できることから支援を継続していきます。

答 (市長) : ④県が認定したものについて、可能な限り支援、協力していきます。

## 委員会インターネット中継へのアクセス方法

# 委員会のインターネット中継を実施

議会改革の一環として、これまで本会議のインターネット中継と併わせて、常任委員会の予算・決算審査と議会改革特別委員会の様子をユーストリームで試行的に中継してきましたが、平成29年第3回（9月）定例会より、すべての常任委員会審査の様子についても試行的に中継することが決定しました。



インターネット委員会中継のページ



委員会中継の様子

- ①市ホームページにアクセス
  - ②「海老名市議会」→「インターネット委員会中継」リンクへ
  - ③視聴したい委員会名をクリック
  - ④ユーストリームに切り替わり、中継動画を視聴
- ※録画は中継後、30日まで視聴可能です。

本会議のインターネット中継もこれまで同様実施しています。  
視聴方法は、市ホームページから、「海老名市議会」→「インターネット議会中継」へアクセスしてください。